

令和 7 年度 霧島市歯科保健専門委員会 会議要旨

開催日時	令和 7 年 8 月 4 日（月） 19:30～20:30		
開催場所	霧島市役所 別館 4 階 中会議室		
出席委員	君野委員長、岩切委員、餅原委員、佐々木委員、有村委員、濱田委員、有野委員、植木委員、今出委員、上村委員、吉元委員、神田委員、黒木委員（代理）		
事務局	【健康増進課】鮫島課長、坂口保健予防グループ長、有馬保健予防グループサブリーダー 【すこやか保健センター】上小園所長、大田主幹兼地域保健第 1 グループ長、木原地域保健第 2 グループ長、小島地域保健第 1 グループサブリーダー 【長寿介護課】渡邊長寿福祉グループサブリーダー 【学校教育課】有馬安全・保健体育グループ長		
公開・一部非公開又は非公開の別		公開	傍聴人数
			0 人
議事 （１）「健康きりしま 21(第 4 次)」計画 第 4 章 分野別の具体的な取組【歯・口腔の健康分野】について （２）その他			
協議結果等の概要 委 ：委員 事 ：事務局			
（１）「健康きりしま 21(第 4 次)」計画 第 4 章 分野別の具体的な取組【歯・口腔の健康分野】について ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。			
【歯周病検診について】			
委 ：歯周病検診について、20 歳から 30 歳までの間定期的な検診の機会が無く、初期の歯周病を見逃してしまうケースが見受けられる。特に 25 歳前後というのは、就職や生活環境の変化によって、口腔内の衛生状態に影響が出やすく、歯周病の兆候があらわれ始める年代でもある。この時期に一度検診の機会を設けることで、早期発見、早期対応が可能となり、切れ目のない支援の充実と、その後の予防意識の定着にも繋がるのではないかと考える。ぜひ、25 歳での歯周病検診の追加を検討していただきたい。			
事 ：事務局としても必要性を感じているため、昨年度に引き続き庁内での協議を行っていく。			
【咀嚼良好者の割合、口腔機能の向上について】			
委 ：中年期以降に口腔機能の低下も見られるということで、国や県の計画の指標の対象年齢が引き下げられている現状であることから、口腔機能検査を、50 代、60 代の中年期から歯周病検診の中に組み入れていただきたい。			
事 ：ご意見を参考に庁内での協議を行っていききたい。			

委：咀嚼良好者の割合について、国のデータと比較しても少し低いと感じる。霧島市中でも地域的な差があるのか、年齢的な差があるのかなど、特に 50 代、60 代の国や県のデータとも比較していきながら注視して、口腔機能の維持・向上に努めていただきたい。

事：データの収集・分析の方法など研究に努めたい。

【フッ化物洗口事業について】

委：薬液による副作用有害事象の報告や、誤飲時の中和剤であるカルシウム剤の服用履歴について情報を教えていただきたい。

事：小学校において、昨年度誤飲の報告が 1 件あがっているが、飲み込んでしまっただけで気分不良・体調不良にまで至っていない。カルシウム剤についてもここ数年使用したという報告は上がっていない。

委：その 1 件は薬液を薄めた後の誤飲か。

事：そのとおりであり、うがいで使用する 10 ミリリットルのうちの一部である。

委：誤飲の報告件数やその後の経過について、このように教えていただけると事業が安全に進んでいることが確認できる。今後もまた機会があるときに情報提供いただきたい。

事：必要に応じて情報提供できるよう、情報を整理していく。

委：各学校で、歯科保健教育を養護教諭を中心に全職員で取り組んでいるところであるが、教育現場では薬の管理や洗口液の作成、分配、子供一人一人の誤飲の確認、希望の有無の確認など教職員の大変な負担となっていることを知っていただきたい。時期に応じて熱中症対策や感染症対策など、子供の命を守るために細かい配慮と細心の注意を払いながら教育活動を行っている。文部科学省から出ている文書では、「実施に当たっては、例えば、市町村の歯科保健担当部局や保健センターによる実施、歯科医師会や薬剤師会の協力、医薬品等販売会社への業務委託など、関係者間での適切な役割分担を検討し、教職員の負担軽減に配慮するようお願いします。」との記載もあることから、負担の軽減をお願いしたい。また、導入当時は丁寧な説明があったり、薬剤の取り扱いについても注意を払うなどあったが、最近ではカルシウム剤の存在すら説明はない学校がほとんどである。初心に立ち返って、丁寧に取扱いしていきたいと思っている。

事：導入当時は、学校や保護者に対して市の職員により説明を行ったという経緯がある。その後は説明も学校にお願いしているところだが、人事異動等によりまだフッ化物洗口に携わったことない先生も異動で来られることもあるので、そういった際は希

望があれば市の職員が教職員や保護者へフッ化物洗口についての説明を行う。今後も市として学校側と連携がとれるよう活動をしていきたい。

委：可能であれば中学校でのフッ化物洗口というのでも検討いただきたい。

委：現在、霧島市では乳歯が入れ替わる時期である小学生に重点を置いてフッ化物洗口を進めている。中学校でも継続した方が効果があるというのは重々承知しているが、教職員の方への負担も大きいという意見もあるので、まずは小学校でのフッ化物洗口の実施体制を整えて、そこから次のステップとして中学校での実施を検討していきたい。

(2) その他

⇒ 特になし。

会議資料

【配布資料】

- 会次第
- 令和7年度霧島市歯科保健専門委員会委員名簿
- 霧島市健康・生きがいつくり推進における各種委員会の設置に関する要綱
- 霧島市附属機関等の会議の公開に関する指針
- 健康・生きがいつくり推進の組織体制
- 健康きりしま21(第4次)
- 健康きりしま21(第4次)【歯・口腔分野】について 資料